

CptyTV -> Linux -> Toast ver0.1

Reported by B.S.W.

CptyTV でキャプチャーした TV 番組を DVD として保存する場合、Toast6 で DVD を作製すると、再生時間が 80 分くらいのもので、高品質だと準備から始めて再エンコードまで含めると 10 時間くらいかかります(G4 800MHz)。そのあとに DVD に書き込みですから、なお更時間がかかります。せっかく、MPEG2 でキャプチャーしてあるのだから、エンコードは無駄ですし、2 重エンコードは画質の低下が懸念されます。

そこで、自宅でサーバーとして動いている Linux にその仕事を振ってみることにしました。

■ 使用したツール

・ Macintosh OSX

CptyTV
MPEG EDITOR
TOAST 6

・ Linux(Vine Linux 2.6.rc4)

mpgtx (映像と音声の分離ツール)
mplex (映像と音声のマージツール)
dvdauthor (DVD のオーサリングツール)
mkisofs (dvdauthor のものを使用)

(Linux のツールのインストールについては、別の機会に)

■ 作製手順

1. CptyTV でキャプチャーしたものを、付属の MPEG EDITOR で、必要なところを切り出します。

MPEG EDITOR だと GOP 単位でしか切り出し出来ませんが、編集後の処理が速いです。

フレーム単位で行うのであれば、Cpty MPEG Edit(今購入できるのは、Cpty MPEG Edit EX)を使用してください。

編集後のファイル名:Test.mpg

これを、FTP でサーバーに転送します。

2. 映像と音声を分離します。

```
mpgtx -d Test.mpg
```

出力ファイル名:chunk-0.m2v,chunk-0.mp2

なぜわざわざ分離するかというと、dvdauthor では多重化(映像のエリア + 音声のエリア)した MPEG でないとオーサリングできないためです。そのため、一度分離して、mplex で多重化を行います。

3. 映像と音声を多重化します。

```
mplex -f 8 -o Test.mpg2 chunk-0.m2v chunk-0.mp2
```

出力ファイル名:Test.mpg2

tcplex というのもあるのですが、音声と映像のずれがでるそうです。

4. オーサリングを行います。

```
dvdauthor -o dvd/  
dvdauthor -o dvd/ Test.mpg2  
dvdauthor -T -o dvd/
```

5. ディスクイメージを作製します。

Vine Linux にはもともと、mkisofs というのが入っているのですが、dvdrttools をインストールしてそちらを使ってみました。(もともとの、cdrtools のツール群としてインストールされた mkisofs に-dvd-video のオプションがあるかは未確認です。)

```
mkisofs -dvd-video -o Test.iso dvd/
```

出力ファイル名:Test.iso

これを、FTP でサーバーに転送します。

6. Toast で読み込みます。

ディスクイメージですので、読み込み後すぐ書き込みが出来ます。10時間かかっていたところが、1時間もかからなくなりますのでバックアップがはかどります。メインの Mac にも負荷がかからないのもいいことです。

CapyTV でキャプチャーした映像をオーサリングできる Capty VCD/DVD を 6980 で買おうかなあと思っていましたが、無償で対応できたのが今回の収穫です。

OS X にも、MissingMpegTools という今回使用した Linux のツールの一部が移植されたツールがありますが、今回は負荷分散ということもあり使用してません。